

地域密着型小規模多機能居宅介護 りんどう

令和2年度 第4回運営推進会議議事録

日時 令和2年10月23日(金) 10:50～11:10

場所 ラック多目的室

出席者 (敬称略)

民生児童委員会会長	戸川 賢一
北校区区長会長	林 千秋
地域代表(北一色区長)	吉田 浩章
地域包括支援センター所長	山田 ますみ
認知症ケア管理指導士	菅谷 治雄
利用者家族代表	馬淵 純一
利用者家族代表	譲 法子
利用者家族代表	橘 徳三
利用者家族代表	戸川 義博
統括施設長	小島 隆之介
りんどう管理者	黒田 留美子
ラック業務部長	堀口 靖人
ラック西棟リーダー	高橋 智子

欠席者 なし

議題

1. 新入参加者自己紹介
2. 議事進行資料説明(特養)
利用者、ヒヤリハット・事故報告、対策について
3. 身体拘束
4. 行事報告
5. その他

議事

1. 議事進行資料説明
特養 利用者数、介護度内訳、利用状況
ヒヤリハット・事故報告 対策(8月 9月)
上記内容は議事進行資料参照

2. 身体拘束廃止

スピーチロック撲滅月間取り組み報告

3. 行事報告

8月9月に行った行事の報告 詳細は議事進行資料参照
行事の内容、利用者のご様子を報告

4. 地域貢献交流活動 「つなぐ」について

新型コロナ感染防止のため活動休止中

5. その他

<北一色区長>りんどう祭りは地域との接点であり、開催できる様になる事を
望んでいます

<区長会長>マスコミを通じて介護の大変さを感じていた。会議の内容を認識して伝えて
いきたい。

<民生委員長>今回会議が開催でき、皆さんの意見や合議が出来てよかった。ラック映画
館の取り組みは昔のことを思い出し、脳の活性化に繋がる。今後も取り
組んでほしい。

<認知症ケア専門家>感染予防に気を付けてもらっている。職員が気を付けてもらうこと
で持ち込み、感染の危険を回避してもらっている。
コロナ感染拡大による認知症の人の実態調査の資料提供いただく。

<地域包括所長>職員も利用者も家族もコロナ疲れが考えられる。変化に対応できる取り
組みに頭が下がる。人との繋がりを大事にしてほしい。連続泊りの方の
他施設等への申し込みはされているか⇒家族希望でりんどうに申し込ま
れている。

<家族代表>お世話になっています。連続で泊まる事もできるのですね。特養も申し込ん
でいるけど⇒担当ケアマネから意向確認して対応している事説明する。
連続泊りの承認は必要なのか⇒多機能の制度等を説明し理解いただく。

<施設長>コロナ対策として持ち込まないことに気を付けている。職員も行動制限などの
張りつめて状態が続いている。マスク着用、手洗い、換気、密を避ける
ことを重点的に取り組んでいる。コロナ対策も一般に浸透してきたこと
で、ご理解していただき有り難い。インフルエンザ対策も併せて、継続
して取り組んでいきます。隣に歯科が開院したことで今まで以上に口腔
ケアに関わって貰えることで、健康管理に重要な環境づくりが出来た。

次回の運営推進会議 開催予定 令和2年12月17日(木) 10:50～

